



右津可厚湯  
し

ホ 2  
518  
1



明加2  
巻 618  
巻 1

百朱杖の巻

心算の如き事なり其のひびけしより  
この如く候るつらばをうまうめたる也  
よけいせしるのみをさしはなせりしれ  
此乃の如く一に心をたすむる事  
あやむくはくをいふ事なり



たゞいあやまるとして其をぬき去るに  
長興のまゝに其を改定せらるるに  
あつたはりし其のまゝに其のまゝに  
も又たそのまゝに其のまゝに其のまゝに  
つゝあつたはりし其のまゝに其のまゝに  
のまゝに其のまゝに其のまゝに其のまゝに

あつたはりし其のまゝに其のまゝに其のまゝに  
いふまゝに其のまゝに其のまゝに其のまゝに  
かゝつたはりし其のまゝに其のまゝに其のまゝに  
あつたはりし其のまゝに其のまゝに其のまゝに  
のまゝに其のまゝに其のまゝに其のまゝに  
はるまゝに其のまゝに其のまゝに其のまゝに









一 此の如く... 弘化との... 弘化との...  
 一 ...  
 一 ...  
 一 ...

弘化との... 弘化との... 弘化との...  
 弘化との... 弘化との... 弘化との...

略字例

古 古事 記	三 三代 実録	江 江家 比身	公 公事 根源	古今 古今 集	令 令業 集	史 史本 集	竹 竹取 物
紀 日本 書紀	延 延喜 式	和 和名 抄	方 方集	後 後撰 集	詞 詞系 集	菅 菅家 系集	穴 穴櫓 物
續 日本 紀	古 古語 拾遺	字 新撰 字續	八 八書 抄	拾 拾遺 集	千 千載 集	催 催馬 集	源 源氏 物
續 日本 紀	舊 舊事 紀	倭 倭姫 世紀	禁 禁秘 抄	後 後拾 遺集	新 新古今 集	榮 榮華 物	狭 狭衣 物

手

尺



伊物いせ

清物清少納言

晴日晴冷

盛盛盛衰

徒徒徒然

正和和字正

大物大和

今物今昔

保物保元

東東東鑑

著集著聞

葉和和州

住佳住吉

字字字拾

平物平治

統古統古

色類多字

柄古古

落物落産

土日土佐

平家平家

方方方平

考考考辭

解解解集

右の和字をよめる

平康杖

い物

乃十十

は十十

ふ十九十九

ほ二十二十

へ二十二十

や二十二十

ち三十

り三十三十

ぬ三十三十

る

を三十三十

わ平

か平

多知可<sub>レ</sub>夏<sub>レ</sub>惠<sub>上</sub>

い乃部

二云

①いろ 万伊呂 色

②いば 万伊波

③いば 萬伊波

いほ 古伊本

廬、菴

④いほ 古伊本

五百

古伊幣

家

⑤いせ 和伊刀系

⑥いせ 万伊等

痛、甚

⑦

いち 古伊知

市

⑧いり 古伊理

入

⑨いり 史

麓

捕魚のまゝ入の番ぢうし 逆にまゝ

⑩いぬ

和以泥 犬

日虫と表泥とも見ぬれども犬骨を以奴乃古未此又標をす  
之命以泥とあれハいの振字略々しかれハまゝの世のまゝ

手い

初

アノ...の...  
ル 伊字

熬 ○いふ 和 溶を 痔 ○か い か 灸 刺

○いが 和 伊加 伊賀 ○いの 拾 五十日 紀 万 五

假字、 ○いの 字 伊加 烏賊 ○いよ 和 伊与

伊豫 ○や 右 伊多 版 常板を ○いそ 万 伊蘇

磯 ○い 万 伊お 何時 ○いげ 古 伊お 巖

稜威 ○いげ 和 國へ 伊豆 古 伊豆 伊の ○いぬ 和 ぬ

鳥を伊奈於保世度利 福 ○いね 紀 伊奈 寐 ○いな 万

伊奈 否 ○いら 和 伊良 苛 ○いむ 和

伊無 忌 ○い 和 以 久 生 ○い 古 伊 久 炎

○い 万 伊加 婆 往、行 ○い 和 伊 久 生倉

○い 万 伊夜 彌 ○い 古 伊 麻 今 ○い

け 古 伊 免 池 ○い 古 伊 布 言、渭云

○い 禁、痛止の 愈 ○い 續 伊 天 出

○い 紀 異 提 厭乞 ○い 古 伊 奢 率

○い 古 伊 波 息 ○い 万 伊 禾 夏

○い 万 射 目 射部 ○い 和 伊 微 鷓鴣

○い 古 伊 斯 石 ○い 源 倚 子 の ⑤ い

ハ 紀伊比 飯 ○ いハ 和伊比 槭 ⑦ いも 古

伊毛 妹 ○ いも 和伊毛 芋 ⑧ いせ 和伊世 國々

伊勢

三云

⑩ いろば 和伊呂 母 ○ いろせ 古伊呂 見 ○

いろふ 古伊呂 家骨 ○ いろふ いろふ いろふ

保入漆の釜なまし ① いろふ 和伊呂古 頭垢 蜜脂

ハ いはほ 万伊波 巖 ○ いはハ いろん いはハ 万

比伊波 齋、祝 ○ いはゆ 和伊波由 嘸 ○ い

はや 和伊波 夜 石屋 ○ いはむ 紀 屯又満を列す孫合 の略後なまし

○ いはハ 万伊波比 匍匐 ○ いはれ 紀 艘石

余 ○ いはふ 和伊波英 石見 ⑨ いほり 和 万

里伊保 廬 ⑩ いがむ 古伊村 桃 ○ いとろ 万

万伊刀 暇 ○ いとろ 和伊刀古 後又見舟 ○

いとろ いとろ 万伊等 厭 ○ いとろ 禁といと の略

⑪ いちめ 吏市女の ⑫ いちぶ 和伊知古 草々

覆盒子 ○ いちハ 古伊知比 赤檮 ○ いちハ

和伊知比 ⑬ 茵 いろんをまてまて ⑭ いりふ 和伊里古 草々

手

三

熬海胤

○いりん

まいりなまのりやまのりなまのり  
いりなまのりいりなまのり

古字  
未考

○いり乃

万伊里乃  
山城

納野

○いぬお

乾成亥の

○いぬる

万伊奴苗

往去

○いぬふ

寐を引り  
ぬきり

○いぬえ

和伊奴衣

香葉

○いゝる

字伊苗加  
大魚

鯨鮪

○いを乃

和伊字乃  
戦後

魚沼

○いわし

和伊和之  
魚

鰯

○いがし

紀伊首  
之

巖

○いづ貴

万伊垣  
神籬

赤崩籬

○いかに

万伊柯尔  
いかに

如何

○いゝふ

字伊加  
苗

恨、忿怒

○いかに

伊加  
古

筏、椀

○いかに

和伊加  
古

瘡

伊加  
里

碇

○いひ

和伊加比  
貝

貽貝

○いかに

多藪を引り  
略行なす

○いかに

万伊加伎  
いかに

搔

いのち  
和伊加古  
近江

伊香

○いの乃

和伊加乃  
磯伎

生

野 ○いのほ

著陣のいほをまき  
まき

○いひ

万伊古

○いたる

古伊多  
流

至

○いゝ

抱き引り  
くくく

○いたん

紀致を引り  
至の義

○いゝ

く 万伊多  
久

痛 ○いゝ

古伊多  
互

痛手

○いゝ

いゝで  
史風子のいゝはあひまき

痛切のいゝ

○いゝ

いたひ

和伊多比  
木

折傷木

○いゝ

いゝ

多氷蘊  
を引り

○いたち 和伊多知 小獸 軸尾 ○いさち 和伊多知

播磨 迎達 ○いそふ 紀章を河の競の ○い

そ費 万己蕪 伎 急 ○いそわ 史 磯田の ○い

そ為 和伊曾為 信流 竿井 ○いそふ 和伊そ布 丹波 石

生 ○いづ 紀齋を河の 齋傳のそなまし

○いづ 万五十瀬 河 ○いづれ 万伊豆 何

○いづ 古伊豆久 河 ○いづち 万伊豆 何

何路 ○いづる 和伊お 田 七 ○いづ系 万伊 豆

流 和 ○いづみ 史 泉 ○いづ 和伊おの 泉 ○いづ 和伊おの 泉

和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛 和伊豆毛

○いなむ 續伊奈 倭 辭 ○いなせ 後撰 辭 洪の

○いなみ 和伊奈良 播 市南 ○いなは 和伊奈依 大和

引依 ○いなほ 和伊奈保 武彦 稲屯 ○いなげ 和伊奈依

伊奈八 國之 周幡 ○いらあ 和伊良 加 薨 ○いら

れ 源 被苛の 義成 ○いらへ 拾 應 入散の義成 散進為と注せり

○いらし 紀 償を河の 正 償とえ ○いむき 字 伊年 支 小 解 考

哺 ○いむみ 和伊豆良 筑 生見 ○いさび 盛

優美の ○いふよ ち 精頭の ①い乃系字

伊乃 祈禱 ○い乃ち 古伊能 命 ②い

ら 洞穿等の ○いぐし 万五十 齋串 串

○いぐち 和以久知 唐割 免缺 ○いぐち 古伊久

海底の石と 未考 ○いぐは 紀的を河 ○いぐ

は 紀軍又射を河り 禁 ○いぐひ お守風古記 伊具比鳥

くぐひの系 又合ひし ○いぐ 万伊久 夷多の ○いぐ

け 和伊久波 浪路 音波 ○いぐれ 和伊久れ 越後 勇禮

④いやくし 万伊夜 之 早賤 ⑤いものご 古伊麻 院

未 ○いまに 古伊麻 須 在 ○いま 万伊麻 思

你、汝 ○いま 紀乃を河り 正 ○いま いまのこをい

東侍中群鳥今本注奉仕之節湯殿人祈着衣と云ん 禁秘抄平家物河湯巻と云んいゆをいづれをもい ④い

け 和伊今須 魚養 ⑦いふ 紀安忍を河り 正

信なきあしとていんいん 今かやうをかといふおも ②いふふ いあけん いちらひ 息

息生の着 ○いふ 万伊許 蒸 漕 ○いふ

万伊許 自い奈河 ⑧いでは 和以天波 國 羽 ⑨いざ

り 万伊射 魚 磯りの着と云ん そのの物さ ○いざ 古伊依 知 血

泣 ○いさ 和伊依 古 砂 ○いさ 古 少





① いへぐし 紀易傍 通毛 雖 ○ いへばや 字伊倍波 宅鳥之

鷗 ○ いへくれ 和伊倍仁礼 草之 兔葵 ○ いへりや

万冢畏そ ② いとかなむ 字豆久利以 宅奈年 管 ○ いと

をし ③ いとゆふ 支遊絲を引り 宅のまへ ④ い

とくふ ⑤ いとわかき 支無暇の 略注之 ○

いとものし ⑥ いとかなし 字伊宅 宅志 徳

○ いとほぢ ⑦ いちらくら 和伊知久良 正市倉とえ

肆 ○ いちしば 万標柴を 字標を一比 乃本とえ ○ いち

やや ⑧ いちびろ 支筒を引り 草之

⑨ いちのせ 字伊利 加世 堂々 今ゆゑせ 宅のまへ ○ いちあひ

拾入相よそ月の ⑩ いちもの 和伊利毛乃 肉腫之 臍 ○ い

りむぎ ⑪ いぬたぐ 和以奴多天 草之 紅

草 ⑫ いちとあ 和以平 止利 漁子 ○ いちすあ

和伊宇須伎 ⑬ 高陸 ⑭ いかげち 和伊加 宅知 雷 ○

いのふが 字伊加留加 鳥之 鷗鷗 ○ いかさの 支蓋を 引り

○ いのよふ 万伊往還 ⑮ 通 ○ いのちり 榮威極 支を引り

⑯ いのりか 字伊ちか 本長良 ⑰ いたが 和伊 宅

た岐 山頂之 ⑱ 頂戴 ○ いちや

手

ハ

ら 万伊多 徒 ○ いづい黄 拾 骨 痛字着の 略注なりし

○ いそはし 万伊多 波斯 骨 ○ いそざわ 万伊多 度利

いそいけ 盛痛免の 今戲射箭 平頭箭 ○

杖 ○ いれひも 古今肉紐の着之禁之蜘蛛雄紐との合之 草之 虎

○ いそがひ 万磯貝 解之鰻こしと云 此の貝をいすり ○ いそがし 源

杖 ○ いそがひ 万磯貝 解之鰻こしと云 此の貝をいすり ○ いそがし 源

○ いそばく 万伊蕪 解之勤とらやを非く 波久 出ハ辛んをと云

○ いそざり 字伊そ 止利 鷲

○ いづい 字伊豆 偏 ○ いづい 万伊茹 解 我里

○ いづい 新古 何將の 著之 十 いづい

電 ○ いづい 和伊奈 粒

○ いづい 紀郎子又娘子を引り 葉之子の着引ハ助と云

○ いづい 大無背の 著之

○ いづい 羊桃を引り

○ いづい 紀戒を 引り

○ いづい 古今 費計の 約注

○ いづい 灼然 ○ いやま

○ いづい 盛戒を引り 令忌の著之

④ いけよへ 和伊計 犠牲餽 ○ いけごり 万生取

虜 ⑤ いふせ 万移史 勢負 鬱悒 いふせしをいふせし精を 勢負よりおといふせし某日

○ いぶす貴 和伊史須波 薩 揖宿 ⑥ いふよめ 紀

彼巖を河の ○ いふもる 久齋菴を 河 ○ いぶら

ふ 古伊基 能布 ⑦ いざやめ いざやめん いざやめ 能布

万伊射 奈比 ⑧ いとち 紀切敷を河の 枘のいとちと 河の非と

め 万伊依 々 卒尔 ○ いづよめ いづよめん いづよめ 万伊依

布用 猶預 ○ いさゝめ 万伊依 々 聊 ○ いさいの

采聊 いさゝめ ○ いさゝめ 源いさゝめ ○ いさゝめ

字伊依々 ⑨ い貴乃貴 万息豆 息突の 伎 ○

い貴乃を 万貴緒 玉の結 ○ いそほひ 古勢を 河

⑩ いさくは 和伊波久 佐草 景天 ⑪ いみぶ

⑫ いし 狭忌意の 勢 ⑬ いし 字石豆 伎 鏢 ○ いし

⑭ いし 和伊之 須意 礎 ○ いし 矢 碑を河の 石文の勢

⑮ いし 和以之 乃知 鐘乳 ○ いし 和伊之毛 知 魚

⑯ いし 和伊師 布之 魚 鯉 ○ いしが 和

⑰ 鯪 ○ いしが 和

⑱ 秦龜 ○ いし 万石古を 紀景行天皇十 二年天皇初

伊之加采 山中 魚 手

将討賊次于栢狭大野其野有石長六尺廣三尺厚一尺五寸天皇祈之日朕得滅土蜘蛛者將蹶益石如栢葉而舉焉因蹶之則如栢止於大虛之々いし〜か〜た〜

いしばし 和以之 波之 石 〇 いし〜ひ

和以之 波比 石灰 〇 いひやよ 字伊比止与 鳥之 鷗 〇 い

ひあや 和伊比阿里 赤蟻 〇 いひむる 後撰 飯

乃翁 〇 いひしろ 和以比之居 邑代 〇 いもろや

和伊毛 字毛 妹 〇 いもがさ 菜 飽瘡 和之蒙瘡 〇 いもろや

〇 いもがら 和伊毛 加良 芋莖 〇 いもがゆ 字和以毛 加由

署預粥 〇 いす〜 古伊須々 〇 いは〜 波

五云

〇 いは〜 古今 石清水 万石をいは〜 〇 いは

ちねび 齋肌 芋の葉を懐妊の 女用ゆをい〜 〇 いは〜 和以

夏々之 木之 羊躑躅 〇 いはほ〜 万石 稗管 巖菅の 〇 いは

〇 いは乃か 和以波乃加波 石韋 〇 いは〜 波

和以波久須利 草之 石薺 〇 いはひ〜 万伊波比 齋

の翁 〇 いはぬ〜 万伊波為 石居葛の 〇 いは

ひ〜 万伊波比 〇 いは〜 枕 万

石走を 〇 いは〜 や 万以播 區 石崩 〇 いは

波乃の 万石 綱乃 考石 籬之 〇 いは〜 万 五

百重浪 ○ いほむし 和伊保マ之利 體擲

○ いへり 和以雨也 芋 ○ いへり 鳥

○ ト 源幼稚を河の材といふ いへり 鳥

○ いへり 鳥

○ 灼然 ○ いち 鳥

○ 延一速 嚴捷 ○ いち 鳥

○ いぬ 鳥

○ いぬ 鳥

○ いぬ 鳥

江魚腹中 脬 ○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

計 ○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

痛矢津 ○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ

○ いわけ 狭幼稚を河の言別マ



⑮ いほしるき

万五百代 拾芥抄、七十二歩ナ爲十代五十代爲  
小田 一段きくえ五百代ハ足居し

① いもふ乃のみ

支厭神き、枕裡のれをいれ  
根を津とらるとれん

④ いちひ乃

かさ 和以知比乃  
加依

櫛林

② いぬあらき

多 蓀葉を  
河の

③ いぬのひほ

和以奴加比  
保之

牽牛

⑥ いぬ乃た

まひ 和以奴乃た  
未比

大官

⑤ いづがは

源 頼朝  
葉の

ほろほろし  
とらるる

⑦ いのりれ

万伊勢藤  
乃花

解、いのの百津  
てまきとらるる

つえかこし葉、巖藻の  
とらるる

⑧ いのりれ

和以夏波  
乃夏夜 藤原家

⑨ いのりれ

和注、福春蟹見  
正伊し

⑩ いづがは

和伊久波  
土古路

射柴

⑭ いもき

和以毛之  
字カ免 姨

⑬ 七

① いはがき

先、岩垣紅葉  
の葉

② いのりれ

③ 平 巖物作  
の葉

④ いちがは

和伊夏波  
之加夏 木之

蔓椒

⑤ いねき

和以祢夏波古  
万呂虫之

冬蟪斯

⑥ いなねほせ

和伊奈旋保  
世度利

福負鳥

ろ乃部

⑦ ろうほう

多 縁衫をき使、袴の  
右位の袍のき

波乃部

二云

① 波へ 和波用 ② 波 ③ 波 ④ 波 ⑤ 波

○ 波ふけんちひ 万波布 匍匐 ○ 波ふ 活るはし

和波布 岐行 ○ 波ふ 万波布 延 草木又繩

⑤ 波えん 夕たえん又 万映を河り 葉の字を

波えん 草本このの 和波魚 生菓 ○ 波えん 和波延

鮓 ⑥ 波じ 支 黄檀 もみちいなり云云 ○ 波じ 續

氏源 土師 和土師を波之と云 塩師の略

① 波い下 紀驛を河り 早馬の音云 ② 波い ③ 波い

④ 波い ⑤ 波い ⑥ 波い ⑦ 波い ⑧ 波い

⑨ 波い ⑩ 波い ⑪ 波い ⑫ 波い

⑬ 波い ⑭ 波い ⑮ 波い ⑯ 波い

⑰ 波い ⑱ 波い ⑲ 波い ⑳ 波い

⑳ 波い ㉑ 波い ㉒ 波い ㉓ 波い

㉔ 波い ㉕ 波い ㉖ 波い ㉗ 波い

㉘ 波い ㉙ 波い ㉚ 波い ㉛ 波い







於 腹帯 ○ ばらわく 和波良 大腸 ○ せらば

ふ 万腹婆 匍匐を 布 いんぎの ④ せむさげ 和波半依波 武藏 榛澤

⑤ ばうもち 兼 寶物の ⑥ ばまゆふ 万濱木綿

木給ゆの ⑦ ばふをぎ 万濱萩 萩ハチの ⑧ ばま

二云おせり ⑨ ばふをぎ 万濱萩 萩ハチの ⑩ ばま

かひ 和波未波非 蔓荊 ⑪ ばふを乃 和波布を能 ⑫ ばま

祝園 ⑬ せむしゆみ 古波士 ⑭ 檀弓 ○ せむしゆみ

古波士か ⑮ 薑 ⑯ ばひ乃ぎ 字波代 乃木 ⑰ 檀 ⑱ せむせを

ば 古今 和波發勢年 芭蕉 蕉せりの香のせむせを ⑲ せむせを

⑳ せむせを 五云

ハ せむせが乃 万波々蕪葉 考、柞葉え 乃 ① せむせが乃

し 和波々木 保之 彗星 ② ばへせらひ 和波雨波良比 俵坊々え 白

拂 ③ せむせが乃め 和波右旅里来 ④ 促織 ○ せむせ

せむせ 記旗芒を列す 萬の香芒の ⑤ せむせが乃 和波右 之臣

比 ⑥ ね せむせの乃ら 万葉根 解、少女の髪 飾、なは物、せむせ

⑦ ばなれえむ 源 ⑧ せむせが乃 和波良乃 大角 征我を

かきけありの ⑨ せむせが乃 布江 ⑩ せむせが乃 香の

⑪ せむせが乃 庵丁 ⑫ せむせが乃 香の

⑬ せむせが乃 万濱葛を ⑭ ばふせが乃 万

延葛を  
② はしむふ  
万著向  
考著ハ  
向ハむ

○ もじよほひ  
平家  
黄櫨白  
多目  
③ もじよほひ  
和

波比未由良  
木  
杜仲

六云

④ はちひ乃  
和波知須乃  
⑤ ち  
今放生舎の  
着

むし拾  
促織虫  
⑥ ち  
今放生舎の  
着

⑦ はちや乃  
源  
藤姑射刀  
左虫の  
⑧ はじか  
い

和波之加良  
以年  
鰻鱺

七云

⑨ ちか  
和波加利乃  
権衡  
⑩ ち

ちか  
右波比毛  
富布  
甫纏

乃乃

二云

⑪ よは  
和仁波  
庚  
万の海  
の群  
⑫ よは  
和尔保  
鳥

⑬ 鷗鷗  
⑭ よは  
和仁倍  
魚  
⑮ 〇  
よは  
和尔倍

⑯ 苞苴  
⑰ よふ  
和尔布  
大和  
丹生  
⑱ 〇  
よふ  
和

⑲ 糸生  
⑳ よえ  
糸煮  
⑳ よえ  
和

手





酪 (キ) よあけはくし 字仁支波々 販

(ヒ) よひまごち 和仁比万々依 蘭茹

六云

(ハ) よげろれぶり 和尔波久奈布比 鶴鷄 (ホ) よほ

もねばな 新撰撰 不香花そ 集 〇 よほきさね 万丹穂之為

解よほし 衣よほし (ノ) よほはれ様也 万丹穂面 解紅顔をよ

(フ) よふ乃まそほ 史新高緒の 善之 (ヒ) よひたささ

万新平柳を 河の

ほ乃約

二云

(イ) ほい 源布衣の 〇 ほい 源本意の (ホ)

ほく 和保々 頬 (一) ほへ 紀廣倍 燦火 (工) ほえ

ほゆる 和保由 嗥 吠 耕ほゆる

三云

(イ) ほい 和保伊多 穂北 (カ) ほがひ 紀壽を引

ほまの 〇 ほがひ 平 行器を引り 西不岳と注 〇 ほそ

ほ 和保ささ 白英 〇 ほそぢ 和保ささ 熟肌

④ ほのけ 古本如延 末枝 ① ほ乃か 古盛 燭の火

秀の ⑤ ほ夷ぢ 史 葉之岸險を以 ② ほしひ 古除逆の語也

字保志比 ⑥ 糲 ○ ほぢ 和保之々 乾肉之 ③ ほしひ

字保須比 燗 ○ ほしひ 乾魚 ④ ほしひ

四云

⑦ ほしひ 和保之須分 ⑧ ほしひ 万保之

麻例 ⑨ ほしひ 字之保々年注 ⑩ ほしひ 和保之天布

鳳蝶 ○ ほしひ 源 正之斂味産せり會味 ⑪ ほしひ

ほしひ 和保之夏彼 ⑫ ほしひ 和保之夏彼 ⑬ ほしひ

⑭ ほしひ 紀火熱を引り大通の ⑮ ほしひ 著 後を引り

⑯ ほしひ 和保土夏良 ⑰ ほしひ 著 後を引り

⑱ ほしひ 字保方之比 ⑲ ほしひ 和保

和冬 小腸 ○ ほしひ 和保之 ⑳ ほしひ 和保

乃を 紀臍を引り脚の ㉑ ほしひ 盛奉幣の

⑳ ほしひ 盛風鞏の ㉒ ほしひ 保 法皇の

のちと天皇を ㉓ ほしひ 万富日呂 跨を延 ㉔ ほしひ

あひ 史星を引り ㉕ ほしひ 和保之以辛 乾魚 脯

○ ほしひ 和保之以比 乾魚之 糲















ちうらひ 赤 赤侍 ○ とほや万部あり 源 赤山抄 延喜部

① とめいごころる 多 虫廬を ② とくきあかきけ

古常磐堅磐を ③ とくすゑたけ 万跡見辰 解 鳥

獣の跡を人をも

七云

④ とかたなりけをれ 十返の夢之松の祝詞 百年二度不嘆ともの ⑤ とく

おひまのり 紀新年を

八云

⑥ とくがをへばり 和刀更伎字 之用止里 ⑦ 鶴鶴

ちの部

二云

⑧ ちへ 拾千重の ⑨ ちく 古今 千のそくを下の ちの部の物をもく

⑩ ちが 和知更 因幡 ⑪ ち頭 ⑫ ちづく 菜

軸の ⑬ ちえ 支子枝の ⑭ ち魚 宇智夷

⑮ ちん 源 帳簀を 河

三云

⑯ ちはひ 万千初日 幸 ちの部の ⑰ ちはやれ

夜知波 禪 ㊦ ちびむ 多編を 〇 ちびく 正

齧齧 ㊧ ちわあ 古知和 通別の ㊨ ちかあ 正

ちのけんちのひ 字知加 折言 〇 ちがふ 兼 違 ちのひ

ちのまき 布 ちよき 兼 徴のまき又彌 齧 ㊩ ち

らふ 万散相散を延 ㊪ ちうや 年最晝夜の

㊫ ち乃わ 丈茅乃掃く ㊬ ちねも 和知於

乳母 ㊭ ちやう 聴帳町頂換等 ㊮ ちしほ

丈中掃く ㊯ ちもく 公除目の 〇 ち

に云

㊰ ちあひぢ 和知利 塵土 〇 ちあかあ 古今

散窓の約 〇 ちりほひ 源散そけいハ ㊱ ち

かじく 万知可 近着 ㊲ ちやうじ 停止の

㊳ ちやうし 長子の ㊴ ちらへあ 万知良

散を流し ㊵ ちおおひ 兼 兎生の ㊶ ちひさ

和知小縣を和比 依加古と見え 小

五云

㊷ ちげやふ 古知波夜 紀、残賊又強暴をも河り

㊸ ちびくふ 和知々波 久留 〇 ちがかあ 和



知々加布里

鱈

カ

ちからがは

和知賀良  
加波馬を

逆

靱

ノ

ぢりやうひ

和知乃夜  
万比

痔

ヤ

ちやう

しよ

兼廳新の  
老之

ユ

ぢゆうぶい

多重代の  
老之

〇

ちゆうかう

甲陽軍鑑 忠孝の  
老之

〇

ちゆうば

川 老之 後伐の  
老之

ヒ

ちいさづ

和知江依加多  
信濃小

縣

六云

千

ちい乃もくは

和知々乃波久依  
草之

紫参

カ

ちこの

川あふ

和知加津河不之  
國之

近江

ユ

ちゆうちや

う 落

中將

ヒ

ちひさき出け

和知比依木  
古分答之 石衣

七云

ア

ちあ(乃ま)り

延道 纒糸を  
河之

キ

ちあ里

かろ

和知伎利加字  
不利

帽

り乃船

二云

ウ

りう

柙留流ひき  
うれりし

フ

りふ

粒立花  
あたのりし

三云

手り

③ 𠂔字旧 𠂔右龍の音 𠂔良雨量涼令

𠂔字旧

𠂔

④ 𠂔和利字古字 林檎 ○ 𠂔右

𠂔古今新膳の音 𠂔和衣夜更久依

六

⑤ 𠂔績濟殿 𠂔禁中殿

ぬ乃部

① ぬ二

② ぬえ古奴更和日 𠂔ぬえとぬいとも 𠂔ぬえんぬいぬい

字奴布 縫

三

⑥ ぬなは字奴奈波 尊 ⑦ ぬおふ紀拭を削

活のあま

四

⑧ ぬは天白を ⑨ ぬ和叩頭虫

手ぬ

額着 (ノ) ぬ乃ねが 和奴比 白布帯

五三

ハ ぬはあぐは 和沼波利久依 王孫 (ニ) ぬえ

は乃 古奴延久依 考 考之 葦草の葉と云 能 (キ) ぬ貴のふ

里 和沼木の布利 継車 (ス) ぬすまはれ 宜被盜

をの

八三

〇 ぬひごの 和奴比止乃々 縫殿寮 夏加依

る

を乃初 男雄尾小端等 づれもたの 飯字

二三

ハ ちば 字字波 伯母、叔母、姨母 (一) ち一 万巻

を を 〇 ち一 和字倍 雄家 (ナ) ち一 万遠

遠 〇 ち一 万遠知 宜長を 乃長母 ち一 乃長母 ち一 乃長母

允鳥職 本の 〇 ち一 乃長母 ち一 乃長母

老翁 〇 ち一 字字地 伯父 〇 ち一

和字知 即著 草臺 (リ) ち一 万手利 折 〇 ち一

手 万を

わ 紀節又度を ○ をり 多格を列り

ル をり 万手流 居 ④ をり 紀越々 唯々

カ をか 古表加 丘、岡 ⑤ をり 小田の ○

をり 和半多 越前 少名 ⑥ をり 和半多 獺

⑩ をな 万手那 小谷 今田畑うねり小谷の谷又山の谷

り ⑪ を乃 和半能 芥 ⑫ をね 和半 呼

嗽 柄の呼流の二もをの一とていふなり和半の法

⑬ をり 和半能 芥 ⑭ をね 和半 呼

万呼之解、ま海を招呼 ⑮ をけ 和半計 桶

○ をけ 万表家 麻筒 ⑯ をり 古表許 今

⑰ をえ 古表延 瘡 ⑱ をり 字

字依 ⑲ 箴 ○ をり 万手依 長 ○ をり 文

通事を河内山路のまるとえ好者、 ⑳ をり 万手依 萩

○ をり 紀招務を ㉑ をり 和半員 信濃 麻績

○ をり 拾小忌の 略法を ㉒ をり 紀表勢 食 ○

をり 和半之 駕鸞 ㉓ をり 和半惠 河波 麻

殖 ㉔ をり 和半比 甥 ㉕ をり 万小簾

三三

口 をるち 古表居 腕 ハ をばな 万字波 奈

尾 不 をばり 万字波 尾 終 をばり 和字 波

里 尾張 をよふ 和字近布 遠敷 を

ほ 和字係 尾株 をらり 和字度 媒

鳥 注少養稚子至長押人 能招引野稚也 をやう 古遠堂古 男

○ をらめ 古表登 少女 ○ をらり 和字出

雄 ○ をらり 万字杆 躍 をらり 万字 鳥

利 ふの をら 万字男 雄々 志

カ をらり 万祀又侵を引り をら ○ をら の

ひ 万字加 岡方の ○ をら 鳥居 拜、齋 を

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可

賞 かか 可咲を 可賞 又 可 の方 可



⑤ 紀 ちも乃 紀 稜を河の食 物の畧也

にん

⑧ 万小放 ちばなすり 万小放 解を乃 稜 解を乃 稜

万字刀如 前日 稜之彼津日之中暇 一昨日ハ倍酒くしえ ○ ち ちしし 万前

を河のさ ち ちをらつら 古今 昔近又彼此 ○ を

ちか 紀 ちか 紀 懦弱を河の 稜之無男道 の義とえ ○ を ちづく

旧條を河の 稜之小路々々 の義とえ ○ を ちつか 万を方を 河の

⑨ 古今 ちあしえん 古今 節映の 節 伊 志字本之時 節を河の ○ を ちあひ河 江

折櫃 ○ を ちあふし 伊 志字本之時 節を河の ○ カ ちあふ

けら 和字加 波良 龍 ○ を のはら 和字加 夏良 楓

⑩ 史 ちぶま 史 麻手卷 の義とえ ○ を ちけふ 紀 鳥

⑪ 伊 ちそま 伊 万之旅保字を土甲のちそま ちしハ世物酒古き之 義

⑫ 和字 ちむかめ 和字 妻 ⑬ を

⑭ 和字 ち乃え 和字 乃々 江 秘

⑮ 史 ちのく 史 字年乃々 久 惜 ⑯ を ちぐる方 史

⑰ 史 ちやな 史 緒柳の ⑱ を ちけ色

⑲ 和字 ちぶろ 和字 尾袋 尾鞆

⑳ 和字 ちぶら 和字 史 額万 男衾 ㉑ を ちらく

万宇依 々々々 專 ○ をばかあり 万壯士時を 列り ○ をさ

かろし 紀不肖又不敏を列り 材を長の知らるる ○ 牛 をさむし 和

宇波堂之 今又取者も有り 帆樓 ○ をさなげ 鷹の具 招索の音

② をしもの 紀飲食を 列り ○ をし かげわ宇 之

加波 糸皮之 韋 ③ をせかの 係 紀之望具をさせし列り 正徳のかみしをさす

りくえんがれか背の もくかきしをいひたえ ④ をはぐに 万食國を 列り

五云

⑤ をばなごゆ 康富記 古ら藤の黒焼をまきしとりのをさす 早稲のまやまをさすゆらゆらなる

○ をはせが 浩男莖形を列り 若陽元形 の知らるる ① をさ

くし 和宇カ宇 カ之草之 赤箭 ② をのし 貴 和

宇加土之伎 草之 符菴 ○ をかほし 和宇加屋々 之 岡

芋 ④ をはくし 紀明道を列り 長々浦の草之 ⑤ をみか

ろも 小忌衣を 列り ○ をみれし 和宇英宗 散之 娘

郎志 女郎名 ⑥ をさきき 史抄草の 義なきし

六云

⑦ をる乃を 万宇居乃波 山をさす ⑧ をは

くちふれ 史尾羽折振の 義なきし ⑨ をさむら 和宇

右柱 橋梁之左右之柱 ⑩ 懂柄 ⑪ をかたす 古今 賢 本をさ



いへし撰纏の本なりししと又貴宴の寄に御指をのりて此本のか  
しと神のむらふよそか之はくらのれとんかれに本にかなのりしと

① ちのすけじもの 万雄自物を  
河

も 万宇良毛許 彼面此面  
乃母 の善

七云

② ちのすけかづりかき 二云のちを  
いなり

③ ちのすけかづりかき 年未役 頤 ④ ちのすけかづりかき 和  
宇依年苗 治部省

⑤ ちのすけかづりかき 年未役 頤 ⑥ ちのすけかづりかき 和  
宇依年苗 治部省

⑦ ちのすけかづりかき 年未役 頤 ⑧ ちのすけかづりかき 和  
宇依年苗 治部省

⑨ ちのすけかづりかき 年未役 頤 ⑩ ちのすけかづりかき 和  
宇依年苗 治部省

わ乃翁

二云

○ わゑ 延和意 葉、弱未の  
善くしとん

三云

⑪ わけ 更万もえ葉之夜の破れし海松なり  
⑫ わ 分米の善く葉、吾柄の

⑬ わげの 拾分米の善く葉、吾柄の  
⑭ わ 分米の善く葉、吾柄の

⑮ わげの 拾分米の善く葉、吾柄の  
⑯ わ 分米の善く葉、吾柄の

⑰ わらけ 字和良 波 童 ○ わらけ  
⑱ わらけ 字和良 波 童 ○ わらけ

⑲ わらけ 字和良 波 童 ○ わらけ  
⑳ わらけ 字和良 波 童 ○ わらけ

手 わ

① わぢへ 古和倭 敵 吾家 ② わぢ 和和之 倭

土佐 和食

に云

③ わいらめ 紀別を引り ④ わらは 万和々 良葉

⑤ わらふ 万渡相 延を延 ⑥ わらふ 伊若人 和和之

⑦ わらふ 万渡相 延を延 ⑧ わらふ 紀和 多

⑨ わらふ 万渡相 延を延 ⑩ わらふ 紀和 多

⑪ わらふ 万渡相 延を延 ⑫ わらふ 紀和 多

⑬ わらふ 万渡相 延を延 ⑭ わらふ 紀和 多

⑮ わらふ 万渡相 延を延 ⑯ わらふ 紀和 多

⑰ わらふ 万渡相 延を延 ⑱ わらふ 紀和 多

⑲ わらふ 万渡相 延を延 ⑳ わらふ 紀和 多

㉑ わらふ 万渡相 延を延 ㉒ わらふ 紀和 多

㉓ わらふ 万渡相 延を延 ㉔ わらふ 紀和 多

㉕ わらふ 万渡相 延を延 ㉖ わらふ 紀和 多

㉗ わらふ 万渡相 延を延 ㉘ わらふ 紀和 多

㉙ わらふ 万渡相 延を延 ㉚ わらふ 紀和 多

㉛ わらふ 万渡相 延を延 ㉜ わらふ 紀和 多

手か

きやう 多王城の ○わすきやう 横行の

⑧ わんれがひ 万忘貝 一様の見あき

六云

○ わせんやう 字 和先生凡人を我とて相い

七云

○ わさほのかげら 万早穂乃獲を

か乃部

二云

① かい 和加伊 櫂 ○かい 和加以 腹中虫之 枕

② かは 万加波 河、川 ○かは 和加波 皮

③ かは 和顔面を 顔、面 ④ かへ 和加倍 榧子

○ かへ 和加用 栢 ○かへ 万可倍 替

⑤ かぢ 和加治 穀 ○かぢ 和加治 櫛 ○

かぢ 和加治 約法又かぢの約法あり 鍛工 ○かぢ 多

か持の ⑥ かふ 和加ふ 字加布 買 ⑦ かひ

古加比 ⑧ かひ 古加比 峽 ○かひ 和加比 楯穂

穎 ○かひ 字加比 躰 ○かひ 和加比 古加比

飼、養 ○かひ 和加比 匙 ○かひ 古今

かひをかひたしなるとるの聲、靴の音、 ○かひ 和加比

甲斐 ○かび 万加受 數

三三

① かい 字加伊 鷄 ○かい 和加伊奈 莠草

② かはち 和加波知 圃 ○かはら 和加波 尾

○かはぶ 字加波 河

○かはら 万加波 河

○かはべ 字加波 肌 ○かはび 万河津 蛙

○かはや 和加波 廁 ○かはな 和加波奈 有菜

○かはら 和加波 甲 ○かはる 貴宴

可波 替、更 ○かはわ 和加波和 河曲 ○か

はひ 和加波 川合 ○かはし 和加波志 肥後

合志 ② かよば 和加仁波 樺 ① かへ 後拾

○かへ 万可 敵 海 ○か

へ 万覆 又返を ○かへる 和加用流 懶 憂

○かへる 和加用流 鷄 ○かへる 和加信流

○かへで 和加用天 鷄頭樹 ○かへる 和



㊦ からえ わか良 草麻 ㊧ かうし 葉松子

㊨ かうじ 源 字、甘橘をか年志しとん是にかうしハ

㊩ かうべ わか字 首 上方の ㊪ かうち わか、鞠をか

㊫ かうい 源 更衣の 漢書更衣 注、み休息

㊬ か乃え 庚 今の兄の

㊭ かやみ 任 高陽院の ㊮ かまへ 源 兼構を引

㊯ かまふ 字 加万不 大不 ㊰ かまふ わか 万不 蒲生

㊱ かけぢ 支 碓道の ㊲ かふち わか 布知 河内

㊳ かふが 紀 鹿深 そは 甲斐 ㊴ かふふ かあふん かふひ

㊵ ㊶ 金 園 恒履の約そく ㊷ かまは 拾 堅寝 ㊸ かま

㊹ わか 支倍 花 驛 ㊺ かいひ わか 之比 椽 ㊻

㊼ わか 之波 本 ㊽ わか 之乎 ㊾

㊿ 集 ○ かいひ わか 之比 ㊽ 香椎 ㊾ かひお わか 之比

㊿ た 万 わか 之 字 ㊽ ㊾ 字 ㊿ 字 ㊽ ㊾ 字 ㊿ 字

㊿ わか 之比 を 卵 ㊽ わか 之衣 鴨柄

㊿

㊿ かいまふ 紀 視私屏を引 ㊽ かいがや わか 之比

㊿ 桂萱 ○ かいまふ 撥 取の ○ かいむち



リ かあそひ 古新杖 枯杖の ○ かあしほま

新時を潮の節に遠くね ももてなまそひいんすの 〇 かるいし 和加笛淳

石 〇 かからひ 万能比 解にかひ ひしとえ 〇 かよう

万加我 かやく 〇 かか 右加賀 那倍 考

〇 かつはら 尾傍を河の片腰より りし 〇 かつは

紀堅 獲を河の 〇 かつらひ 万可多 浩を延 良比

〇 かつはむ 万加多 解にかま 波年 〇 かつは

万堅 今海なむねを 〇 かれひげ 和加

比 標子 編着の 〇 かれいひ 多 餉を河の

〇 かつ乃幾 万可頭乃 解の穀の木 とらり 〇 かつくる

所被の 受く 〇 かつらく 万可頭 志字 〇 かつきめ

和加豆 伎承 潜女 〇 かつら幾 古可頭 良紀 葛城

〇 かなげ 和加素 ち素 鐵杖 〇 かなげ る 撫

川 り格 〇 かな 源必を河の 不假の を

かな ひ 万可素 悲 ら かつ 和 加良依 打穀具

連枷 〇 かつ 和 考 体源抄 枯葉又枯

とがの神懸りの時流を 〇 かつ 和 考 持幸

〇 かつ 和 考 字





⑦ かひろろ和加比路之 紗 ○ かひたふ和加比

貝隋 ⑧ かせげ和加勢 鹿杖 ⑨ かにがひ和加比

字加須 録 ○ かにま和加 鹿杖カシ かにがひ和加比

五三

⑩ かいじ拾鷺子玉を列す ○ かいもち徒

搔練餅の かい和加 かい和加 ○ かい和加

ほら和加 ○ かい和加 水楊 ○ かに和加

⑪ かけやな和加波夜 水楊 ○ かに和加

加波良 草 ⑫ かに和加 蒲草

○ かね和加波林之佐 女青 ○ かに和加

多師子夫 かね和加波 河伯川津和加

○ かね和加波古 裴 ○ かに和加

加波比 蝶、快 ○ かね和加

⑬ かね和加 ⑭ かね和加

⑮ かね和加 擲倒 ○ かね和加

加戸新也弥 痲 ○ かね和加

はの和加 ○ かね和加

⑯ かね和加 ⑰ かね和加

久 高字 未考 (ル) かるがゆえに 故を測り 聯在故の 略也

(カ) かがしらひ 源 葉、機連の葉と云 正、鞞掌を測り (ヨ) かのあわ

史 かの發音 義合 文 かのをわみ 万箇乎無 干箇のなき

(○) かのまよひ 史 万、肩間、和、紙を万箇布 注 絲節ふ測るを

わもの えかきわ (○) かののつあ 史 和、撫鷹をか 右加用早と云

(○) かのくがへ 俗 参差 方違の 義 (○) かのちけふ 紀

阿黨を 葉、偏ちまふ 測り (○) かのほがわ 和 加、若、豆 不利 搦

牛 (レ) かれひげけ 和 加、れ、比 右、名、唐、鞞、を、鞞 (ツ) かのぞい

るは 史 右、又、を、か、と、測 和、母、を、い、る、は、と、云 (ツ) かのねがは 和 加、豆、孫、久

佐 草 麻黄 (○) かのをむし 和 加、豆、辛、を、之 (○) かのぞい

嚢 (○) かのけもの 葉 祿を測り 被物の義 (ナ) かのげれお

和 加、豆、葉 桔槔 (○) かのほがわ 和 加、豆、葉、加 利、刑、を、之 録

(ラ) からのがしは 和 加、良、か、之、波 草 麻 (○) からのし

大 幸、而、の 伊、ま、修、く (ム) かのむげのあり 万 神、豆 麻、利、神、集、の、略、注、を

(ウ) かの乃の 盛 督、殿、の 義、修、く (○) かのさやう 之、剛、強、の、義、修、く

(○) かの志やう 高 聲、の、義、修、く (ウ) かのれあわ 和 加、豆、乃、阿、和

結果 江、原、の、考、か、え、繩、を、今、集、り、し 右、れ、も、候、字、違、り、と、れ、も、見、る (ケ) かのげまひ 史、車、を

牛、か、く、く、の、く、く、の、く、く、の、馬、よ 糸、く、く、を、糸、の、ち、ひ、と、見、し (フ) かのらちあ 和 加、布、良、義、利

鈺 ③ かぶらじもの 枕 万鹿兒自物 ④ かさの

ぞふ 万可役加 撫筆の ⑤ かみけ乃 和加良須 分乃

國之と野 ⑥ かみけふは 和加良須不依 ⑦ 上總 〇

かきげの法 和加良須 神祇官 ⑧ かもじもの 枕 万

鴨自物 鹿兒自物の類

六三

① かいけくろひ 後拵 撫筆の ② かばらじもの 和

加波良 白蒿 〇 かはらじもの 和加波良 菊 〇

かはぢきもの 和加波良 賣子木 〇 かはらじもの

和加波々 之加良 呉茱萸 〇 かはらおとす 長生を

〇 かきみじ 土龍を ② かみ乃 拾 かく

ふよひ 古字 ① かへる 古今 返々の

り かり乃 法の 万雁使 蕪武ふ人の ③ かがらけ

しも 万 解懸を 斯有者 ④ かくじる

法 和加多之 ⑤ 白草 〇 かくぎけの 續可

自亮 奈志 泰、辱 ⑥ かいをいる 和加良須 堅魚

煎汁 ⑦ からはな 和加良須 轉筋 〇

からいあふ貴 和加良須 射干 〇 からはよの

多白膠を ④ かうれふり 支香烟 ① か乃

わのび乃 和鹿乃和 鹿茸 ⑤ かけ乃を 万

可鶏乃 岳尾 ⑦ かぶらみび 和加布良 白頭蝟

③ かみかみしれ 和加良於 苦菜 ⑥ かりとら

祿万鴨之和

七云

⑧ かはら乃えはり 和尾乃衣 櫻 ② かはらふら

乃鶏栖を ① かはら 和加波之末

衛矛 ⑨ かつふり 和加波之末

③ かしら乃かはら 和加之良乃 顧

八云

① かしら 和加之良乃 後食饋

上

年  
木  
杖  
上  
統

○  
八  
年  
杖  
上  
統

八  
年  
杖  
上  
統

年  
木  
杖  
上  
統

